

多度津町「第4次地球温暖化対策実行計画」 ～2019年度 実施状況報告～

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、平成30年度に策定した「多度津町地球温暖化対策実行計画（第4次）」は、温室効果ガス排出量および数値目標の達成状況等を把握し、温室効果ガス排出の抑制を行うことで、地球温暖化対策の推進を目的として実施しています。

計画の概要

- 計画の基準年：2013年度
- 実行計画期間：2019年度～2023年度（5年間）
- 調査対象施設：庁舎を含めた公共施設
- 計画対象温室効果ガス：CO₂（二酸化炭素）
- 基準年の温室効果ガス排出量：3,239 t
- 温室効果ガス削減目標：35.6%削減（目標削減量1,152 t）

2019年度温室効果ガス排出状況

- 2019年度の温室効果ガス排出量は2,130 tとなり、基準年の排出量に対して34.2%（約1,109 t）減少しました。
- 温室効果ガス排出源構成では、電気使用による排出量が全体の78.2%を占めています。
- 排出量が減少した要因は、多度津町水環境処理施設において電気使用量が減少したことです。

温室効果ガス排出削減に向けて

2019年度は、主に電気使用量の減少を要因として温室効果ガス排出量が34.2%減少しました。本町の排出源構成では電気使用に伴う排出が全体の約78.2%を占めており、電気使用量の削減は本町の温室効果ガスの排出削減には欠かせない要素であるといえます。今後は、職員の取組の継続はもとより、町民への普及啓発を図ることも望まれるため、下記の内容を継続的に取り組んでいきます。

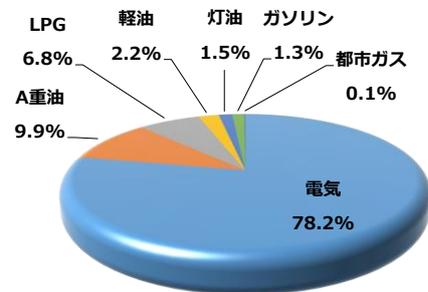
- 全職員による省エネ行動、環境配慮行動にむけた COOL CHOICE（＝賢い選択）の実践。
 - ❖ 空調機器等の冷暖房温度の適温設定（冷房 28℃、暖房 19℃）を徹底する。
 - ❖ 休憩時や始業時間前、時間外勤務時等においては、不要な照明の消灯を徹底する。
 - ❖ OA 機器等は、省電力モードを活用して省エネルギーを図る。
 - ❖ 「エコドライブ10」を心掛ける。 など
- 各施設で空調・照明等の設備の運用・管理及び改善を図り、エネルギー効率の向上を図る。
- 町民・事業者に対して「COOL CHOICE」の促進を行う。
 - ❖ 町民が利用する施設については、利用者に協力を求め、町民との協働による取組を行う。

● 温室効果ガス排出量推移

（単位：t-CO₂）

年度	温室効果ガス排出量	基準年対比
基準年	3,239	0.0%
2019年度	2,130	-34.2%
目標値	2,087	-35.6%

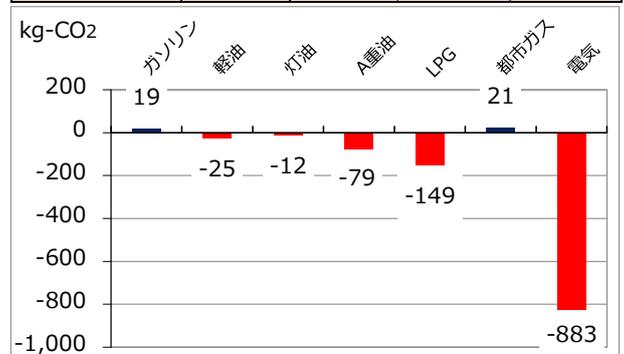
● 温室効果ガス排出源構成



● 排出源別温室効果ガス排出量及び増減状況

（単位：t-CO₂）

項目	2013年度 (基準年)	2019年度	基準年対比		
			増減量	増減率	
電気	2,533	1,650	-883	-34.9%	
燃料	ガソリン	43	62	19	43.2%
	軽油	72	47	-25	-34.3%
	灯油	47	35	-12	-25.3%
	A重油	321	242	-79	-24.6%
	LPG	219	70	-149	-68.1%
	都市ガス	3	24	21	712.8%
総排出量	3,239	2,130	-1,109	-34.2%	



「COOL CHOICE」とは、2030年度に温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のため、脱炭素社会づくりに貢献する製品への買換え・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしていこうという取組のことです。